

派遣留学プログラム月間報告書 10月

勉学の状況

始めてから 2 か月ほど経つスウェーデン語ですが、相変わらず授業のスピードが早く感じられてしまいます。その原因のひとつはおそらく前列の席を独占し授業中も積極的に発言するドイツ人留学生のためではないかと思われます。スウェーデン語とドイツ語の言語体系が似ているためなのか、習熟度がまるで違うように思われて悔しいです。少し遅れ気味になっていることにより先生が気づいてくれたのか、途中から授業のペースが落ち着き、しっかり確認をしながら進むようになったのでとりあえず一安心です。しかし、まだ分からない部分が多く、復習を繰り返す毎日です。

また、先月行った **Nordic Culture** のセミナーのまとめとして、グループプレゼンテーションを行いました。自然界に存在する様々な利害関係を双方の立場から述べながら議論を深め、プレゼンテーションを作成しました。なかなか意見がまとまらず、より深い考察までいけない部分もありました。この点については来季の関連した授業でより詳しく学んで行けたらなと思います。

今月は比較的自由に使える時間が多く、いかに時間管理が大切かを改めて思い知ることになりました。余った時間を自分の好きな勉強に費やせることはうれしいですが、それを生かすも殺すも自分次第です。もっと他にできたことがあったのではないかと後悔することもないわけではありません。限られた時間をもっと有効に考えて使うことを心がけていきたいです。

生活の状況

今月はひたすら騒音に悩まされていました。コリドーのリノベーションが始まり、朝の 7 時からけたたましいドリルの音が壁を伝って毎日のように耳をつんざき、毎朝悪夢で目覚めるようになりました。部屋の中ではあまりにもうるさすぎるため、何事にも全く集中できません。作業終了の時刻は午後 4 時前後と比較的早いのですが、なぜこんなにも朝が早いのか不思議で仕方ありません。床は剥がされ、臨時のキッチンが屋外のプレハブの中に設置され、アスベスト除去のために部屋に入れなくなることもありました。まだそんな危険な素材を使っていたと知って驚きを隠せませんでした。より高い生活基準を成し遂げるためとのことですが、タイミングが悪いと思います。以前のキッチンやリビングルームにも特に不満はなかったのですが、どうすることもできません。工事は 2,3 か月かかるらしく、これが毎日続くのかと思うと、平気で眠れません。ただひたすらに早く完成することを望むばかりです。

その一方で、街のいたるところで木々が色づき、秋を感じるようになりました。しかし月末にはその葉も散り行き、時の過ぎる早さが身に染みます。日が落ちるのも早くなり、冬の到来を思わせて、なんだか気も沈んでいきます。スーパーではビタミン剤をよく見かけようになりました。

